

## 土偶を作ろう

釈迦堂遺跡からは土偶が 1,116 点出土しています。この数は全国第 2 位です。これだけの数が一つの遺跡から出土することは大変珍しいことです。また、この山梨県では釈迦堂遺跡以外の遺跡からもたくさんの土偶が出土しています。山梨はまさしく土偶の宝庫とも言える場所です。では、土偶はどんな風に作られているでしょう？みなさんも縄文人の気分になって土偶を作ってみましょう。

### 釈迦堂遺跡博物館

- 住所：山梨県笛吹市一宮町千米寺 764
- 電話：0553-47-3333
- 入館料：一般 400 円／小中高生 200 円

### 材料

- ・オープン粘土（実物は土の粘土を使いますが、扱いが難しいのでオープン粘土を使います。）
  - ・ボウル（水をいれておく）
  - ・濡れタオル ・竹串または爪楊枝（箸でもOK）
- ※オープン粘土は大きな文具店、手芸店などで買うことができます。お店の人に聞いてください。

#### 1. 粘土を切ります。

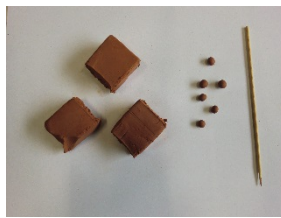
この粘土は 400g ほどなので、  
4 分の 1・・・100g にします。



#### 2. 切った粘土から 5 mmほどの玉を 6 つ作ります。



⇒



玉を作ったら、大きな粘土を 3 つに分けます。

#### 3. 1 つだけ手元に残して、あとの 2 つは乾いてしまわないように濡れたタオルにしまっておきます。

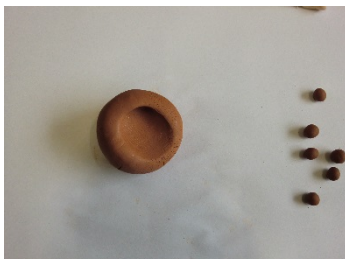


⇒



手元の粘土を、丸くします。

#### 4. 丸くした粘土の中心を押すようにしてお椀のような形にして、形をととのえます。



⇒



5. 濡れたタオルから粘土をとりだし、もう1つ同じものを作ります。片方には、最初に作った小さな玉をいれます。



全て小さな玉をいれたら、何も入っていない方の縁に水をぬります。

(水がのりの代わりです。ギョウザと同じですね。)

6. 二つを合わせたら、合わせた線が見えなくなるまで指で粘土を動かします。



⇒



ツルツルにするには、机の上で  
転がしてみてください。

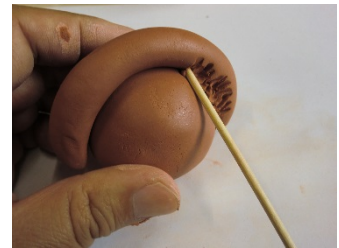
7. 残りの粘土を濡れタオルからとりだします。この時、少しだけ粘土を残してください。粘土の形を棒のようにします。その棒の一部に水をぬります。そうしたら、ツルツルの丸に乗せて付けていきます。ここが髪の毛の部分になります。



⇒



⇒



8. きれいに付いたら、好きな形に変えていきます。

最後に残った粘土でまゆげの部分を作ります。これも細い棒を作ります。そうしたらMのような形にしていけます。



⇒



⇒



9. まゆげも髪と同じように竹串などでしっかり付けていきます。まゆげが付いたら、あとは目や口、耳飾りの穴をあけます。目か口は最低一つは中の空洞まで穴が届くようにして下さい。



⇒



これで出来上がりです。  
オープンで焼くことは出来ますが、  
焼き方は粘土の説明書をご確認  
ください。